

006402 大腸腫瘍粘膜下層剥離術 火曜日手術

ステップ名称	ステップ1		ステップ2	ステップ3		ステップ4	
	1日前	基準日		1日後	2日後	3日後	
	術前		術中	術後			
到達目標	剥離術に対する心身の準備ができる		合併症なく剥離術が終了する	腹痛がない		日常生活の注意点を理解し退院できる	
処置	文章 弾性ストッキングのサイズを測ります	義歯・腕時計などをはずします	酸素マスク、心電図モニターなどを付けます	指示で酸素マスク、心電図モニターなどをはずします			10時ごろに退院です
検査		手術前に弾性ストッキングを着用します		トイレ歩行後ストッキングをはずします	レントゲンがあります		
体温・呼吸・循環	文章 入院時に体温、脈拍などをはかります	手術室へ行く前に体温などをはかります		適宜体温、脈拍などをはかります	10時 19時ごろに体温、脈拍などをはかります	10時ごろに体温、脈拍などをはかります	
注射		10時頃から持続点滴が始まります		持続点滴をしています	持続点滴中です 抗菌薬の点滴を朝、夕行います 終了後点滴を抜きます		
投薬	持参薬があればお知らせ下さい	8時から下剤を2時間かけて内服します 便の硬さや色を確認して下さい			朝から持参薬(抗血栓薬を含む)を服用再開します	朝から下剤を服用します	退院時処方には特にありませんが、希望される方には緩下剤を処方します
	22時ごろに下剤を服用します	下剤服用後から2時間後の12時ごろ、医師の指示されたお薬を服用します					
清潔・排泄		排便の確認をします				シャワー浴ができます	退院後、便秘をしないよう心がけます
食事	消化のよい食事が始まります	絶食です		意識がはっきりすれば、指示で少量の飲水ができます	朝から飲水できます 夕から五分粥が始まります	朝食から軟菜軟飯です	退院後、熱いもの・香辛料の強いものは控えてください お酒は、1ヶ月間禁止です
活動・安静度	制限はありません			意識がはっきりするまでベッド上で安静にします	病棟内の歩行ができます	制限はありません	退院後、1週間は力仕事は控えてください
				看護師と共に歩きます 指示でトイレ歩行ができます			
教育・指導・説明・リハビリ	薬剤師から薬について説明があります			本人、家族の方に手術結果の説明があります			看護師から日常生活や次回受診日について説明があります
	看護師から手術について説明があります						退院までに病理結果が出なかった場合、次回外来受診時に説明します
	特別な栄養管理の必要性(有)						
書類	手術同意書を看護師詰所に提出してください						退院療養計画書、請求書を渡します
	入院診療計画書を渡します						
手術							